

土木学会 創立100周年

豊かなくらしの礎をこれまででも、これからも



公益社団法人土木学会は、2014年11月24日に創立100周年を迎えた。

この100年の間に、わが国をとりまく環境は大きく変化し、土木に求められる社会的な要請も大きく変化してきた。人口減少・少子高齢化、地方の疲弊、社会インフラの維持管理の増大、多発する災害等、対応すべき課題が現在も数多く存在している。常に、長期的かつ大局的な展望を保ちながらも、時代の変化を敏感に捉え、さまざまな課題や社会からの要請に応え、公益の増進を図るための不断の努力を続けることは、土木の使命である。また、個々の土木技術を進歩させることに加え、総合性を身につけ、市民のための

工学の担い手として、人類の生存と営みおよび人類と自然の共生に貢献するという活動・精神は、土木学会創立以来不変のものである。

このような考えのもと、土木学会は、100周年を記念し、「社会安全」、「社会貢献」、「市民交流」、「国際貢献」の四つを基本とした、土木界、土木学会、土木技術者がこれから100年を超えて発展し、成長し続けるための100周年事業を実施してきた。それと同時に、国内の支部活動のさらなる活性化および海外支部とのネットワークの強化にも力を入れ、土木学会の活動を日本全国、世界へと展開させてきた。また、100周年事業の中でも特に重要であり、11月21日に執り行わ

れた記念式典、記念祝賀会には、延べ2600人を超える多くの方が出席した。記念式典においては、皇太子殿下の御臨席のもと、土木学会会長から土木学会、土木技術者のあり方・役割を示した土木学会創立100周年宣言がなされた。

本特集では、記念式典をはじめとする100周年ウィークに行われた行事に加えて、全国の支部で展開されたさまざまな100周年記念事業を紹介する。また、それらの事業に携わった方の声、そこに込められた思い等も併せてお伝えする。これらの100周年記念事業の実施を通じて、各会員が今後の社会、土木界を考え、新たな活動を始めるきっかけとなれば幸いである。

JSCE 100th ANNIVERSARY

Sustainable Society for a Life of Affluence